

(1) システム概略

2拠点間でのドナー情報を含むデータの共有化について、検討を行い、ソフトを作成した。現時点での運用では、USBを使い、暗号化データを送信することで情報の漏洩のリスクを解決することができた。

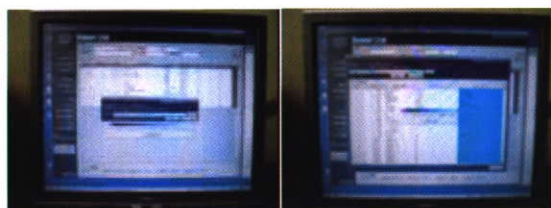
(2) システム内容

1) 出力データ

出力されたデータを USB メモリなどで移動させ、メール等に添付し配布するが、データは暗号化されているため万が一紛失したとしても解読はできない。

2) データ取込

施設マスタが拠点間で異なる場合(特に施設マスタに記入漏れがある場合)データ更新にばらつきが出る可能性があるため、施設マスタは拠点間で共有することが必須としている。



E. 結論

日本スキンバンクネットワークならびに西日本組織移植ネットワーク事務局の2拠点間でのデータの共有を行い、組織バンクにおける一元管理システムの可能性について検討した。この結果、扱う情報が個人情報を含むものであり、より正確で、より安全性の高いデータ共有が必須条件のため、2拠点間でのデータ共有は情報の暗号化を行うことにより実現することができた。このシステムを導入することにより、組織移植ネットワーク間、バンク間はもちろんのこと、今後益々全国的な情報共有が可能となる。また、ドナー発生から移植後の追跡調査まで一連の情報を

リアルタイムで把握することにより、より一層のクオリティの保持とともに、全国的な移植医療の発展が可能と考えられた。

F. 研究発表

特になし

G. 知的財産権の出願・登録取得状況(予定を含む)

1. 特許取得

特になし

2. 実用新案特許

特になし

3. その他

特になし

ドナーデータの拠点間共有機能

Donor List

検索
 ドナー No. : [] 採皮日 : [] ~ [] クリア
 提供病院名 : [] 地域 : [] 都道府県 : [] 検索

ドナーリスト

ドナー No.	国	出庫許可	採皮日	提供病院	地域	都道府県	合計単位	合計枚数	残り単位	残り枚数	No.
kyo-ttta5	---	---	---	杏林大宇病院	関東	東京都	0.0	0	0.0	0	256
kyo-ttta4	---	---	---	九大病院	九州・沖縄	福岡県	0.0	0	0.0	0	253
kyo-ttta3	---	---	---	移植センター	近畿	大阪府	0.0	0	0.0	0	251
kyo-ttta2	---	---	---	BCS病院	北海道 東北	北海道	0.0	0	0.0	0	242
kyo-ttta1	---	---	---	九大病院	九州・沖縄	福岡県	0.0	0	0.0	0	241
kyo-ttt02	---	---	---				0.0	0	0.0	0	238
kyo-ttt01	---	---	---				0.0	0	0.0	0	228
kyo-000	---	---	---	d d	関東	東京都	0.0	0	0.0	0	228
kyo-98989	---	---	---	d d	関東	東京都	0.0	0	0.0	0	68
kyo-10-1	---	---	---	社会保障中京病院	東海	愛知県	0.0	0	0.0	0	121
kyo-080201	---	---	---	社会保障中京病院	東海	愛知県	0.0	0	0.0	0	882
KY0-06-06-01	○	---	2005/06/08	BCS医院	関東	千葉県	30.2	37	30.2	37	161
KY0-05-01-01	○	---	2005/12/21	て s t	関東	神奈川県	16.4	18	11.4	13	128

ドナーデータを他の拠点用に出力する

他の拠点から送られたドナーデータを取り込む

リスト内情報
 ドナー数 : [13] 合計単位 : [46.6 (U)] 合計枚数 : [55 (枚)] 平均単位 : [3.58 (U)] 平均枚数 : [4.23 (枚)]

- SNS での拠点間でのドナーデータ（ドナー情報、全身評価、検査情報）の共有化
- 更新されたデータを共有テーブルに一時保存しその内容をテキストファイルに出力
- テキストファイルを USB メモリなどで抜き出し別の PC からメールなどで送信
- 受け取ったテキストファイルを取り込むことでデータを反映させる

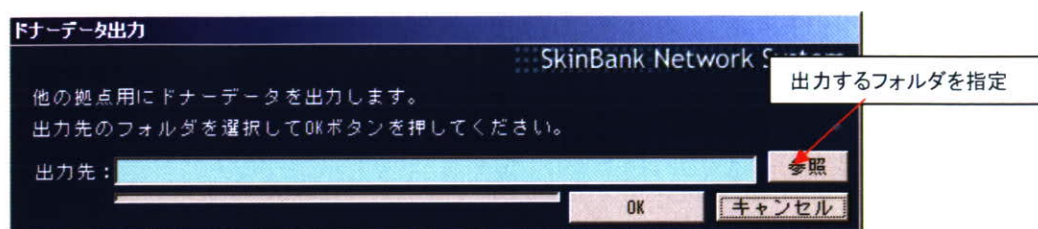
出力データ

- NULL と初期値を省いたもの
- 前回出力してから更新されたデータ全て
- ドナーを特定するため、名前、性別、生年月日の入力が必要

データ取込

- 元のデータと取り込んだデータが異なる場合はデータを更新しない（ただし元のデータが初期値、NULL だった場合は更新する）
- 名前、性別、生年月日、ドナーID が一致しなかった場合は新規のドナーとして登録
- ログには更新したものとしなかったもの（データが重複したとき）の両方を出力する

■ ドナーデータ出力

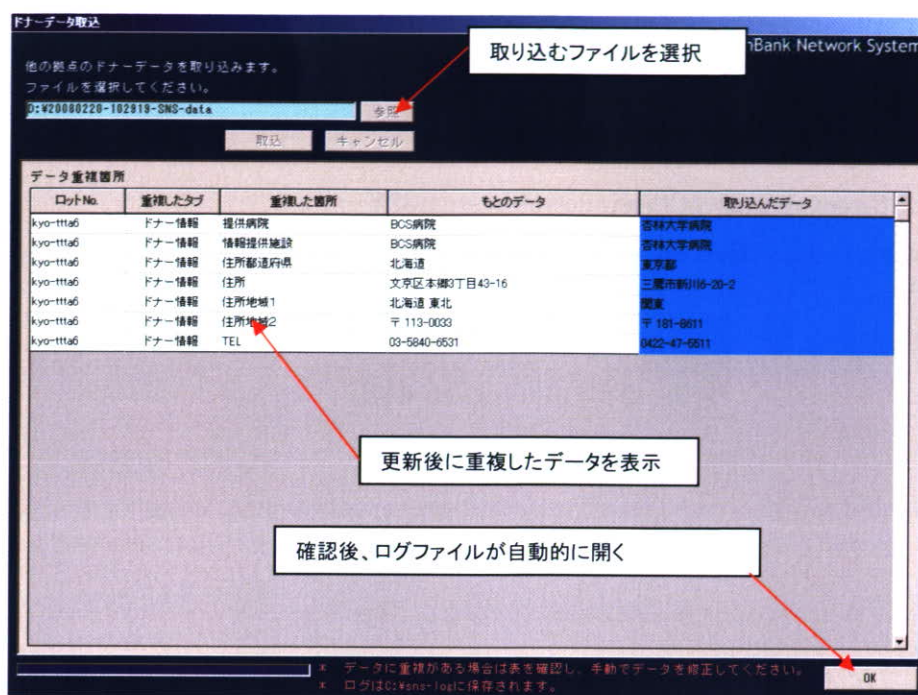


データ出力動作

- ・ ファイルの保存先を指定
- ・ 一時保存用データテーブル、ヘッダテーブルからデータを取得
- ・ レコードがない場合終了
- ・ 一致するドナーを確認するために名前、性別、生年月日が入っているか判別
- ・ テキストファイルに出力
- ・ 一つのデータに対して、管理 NO、ロット NO、項目 NO、データ、名前、性別、生年月日の 7 つのデータが付属する
- ・ データは'で区切る
- ・ データが NULL の場合、ファイルを削除しエラーを返す
- ・ 一時保存用データテーブルを消去する
- ・ テキストファイルを暗号化し、もとのテキストファイルを削除

出力されたデータを USB メモリなどで移動させ、メール等に添付し配布する。
データは暗号化されているため万が一紛失したとしても解読はできない。

■ ドナーデータ取込



データ入力動作

- ・ ファイルが選択されていなかった場合、終了
- ・ ファイルを複合化し、SNS用のファイルかどうかを判別
- ・ ファイルの中身が NULL かどうか判別し、NULL の場合終了
- ・ ファイルの中身のデータを全て読み込み、複合化したファイルを削除
- ・ データの文字数を数え、'で区切られたデータの文字数と'が何文字目にあるかを数える
- ・ 2次元配列に取り込んだデータを格納

以下各レコードに対してループ処理

- ・ 名前、性別、生年月日が一致するドナーを検索し、ドナーID が一致するドナーを検索
- ・ 一致しない場合ドナーを新規作成する→新規作成処理・初期値設定・取込データ更新
- ・ 一致した場合取込データ更新

取込データ更新処理

- ・ 更新前のデータを取得し、項目マスタから項目名を取得
- ・ 更新前のレコードに値があり、さらにそれが初期値 (0 or NULL) の場合、データテーブルに更新
- ・ ラジオボタン、全身評価図示のデータはログ用にデータを変換
- ・ ログ出力 (テキストファイル・スプレッドシート)

*施設マスタが拠点間で異なる場合 (特に施設マスタに記入漏れがある場合) データ更新にばらつきが出る可能性があるため、施設マスタは拠点間で共有することが必須

■ SNS アップデート手順（拠点間データ共有用）

- ・ テーブル追加 (sns_data_tmp_tbl)
- ・ 項目マスタ修正 (kmk_no 11001 - 13051 の kmk_name1, kmk_name2、247 件)
- ・ SNS.exe 上書き (C:¥ProgramFiles¥SNS¥)
- ・ C:¥SNS-log フォルダ作成
- ・ COMDLG32.ocx を追加 (C:¥windows¥system32¥)
- ・ SNSEnv.ini 上書き (C:¥ProgramFiles¥SNS¥)
- ・ PrjUsbCtl.exe で USB の名前を確認し、SNSEnv.ini に上書き

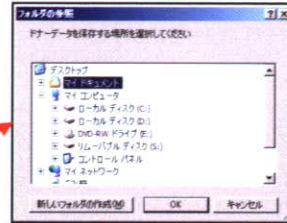
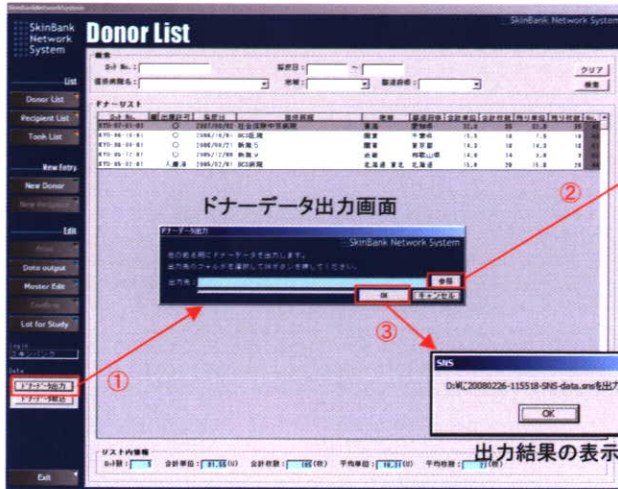
SkinBank Network System 拠点間データ共有機能 簡易マニュアル

拠点間データ共有機能

非同期のデータベース間で特定のドナーデータ(ドナー情報、全身評価、検査情報)の共有を行うための機能

ドナーデータ出力

他の拠点で反映できるようにドナーデータの出力を行う

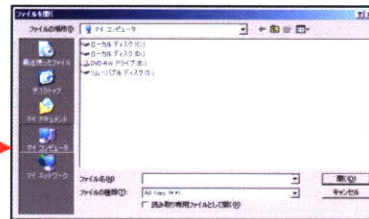
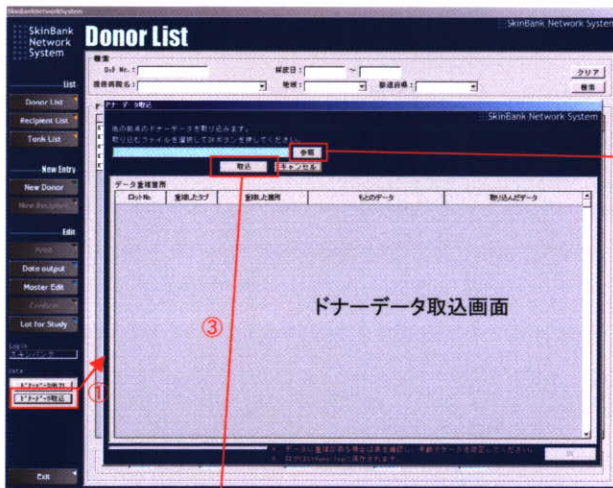


ドナーデータの保存フォルダの選択

* 出力したドナーデータを USB メモリなどに記録し、メール等で他の拠点へ転送する(出力されたデータは暗号化されているため安全に転送することが出来る)。

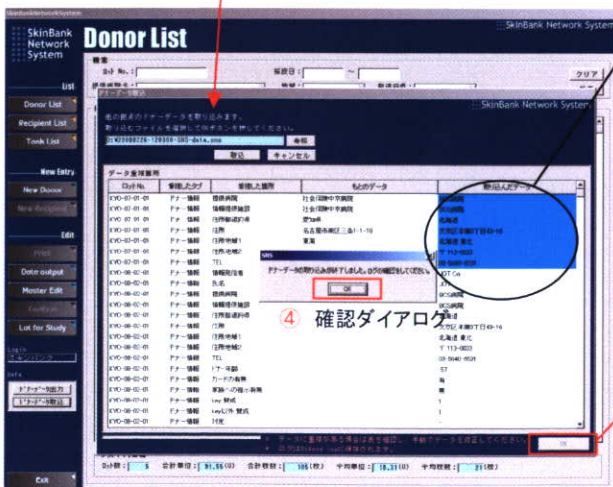
ドナーデータ取込

他の拠点で出力されたドナーデータを取り込み、データベースの更新を行う



ドナーデータファイルの選択画面

* もとのデータと取り込んだデータが異なる場合、違う色で表示される。このデータについては手でデータの訂正をする必要がある。



ドナーデータ取込ログ表示 (テキストファイル)

ドナーデータ取込ログ表示 (スプレッドシート)

Ⅲ. 平成 19 年度 DAP (Donor Action Program) 報告会

平成 20 年 1 月 24 日 (木)
於 遠鉄ホテルエンパイア 2 階「天竜の間」

静岡県
北海道
新潟県
愛知県
富山県
京都府
福岡県
熊本県
秋田県
山口県
長崎県
沖縄県

聖マリアンナ医科大学

平成19年度 厚生労働省再生科学研究費補助金事業 臓器移植社会基盤整備事業

静岡県

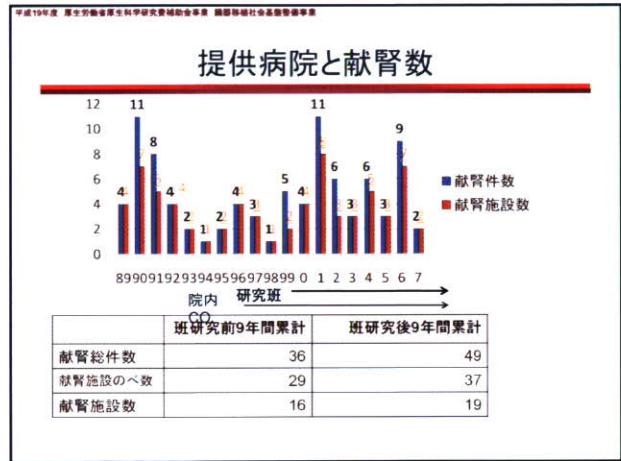
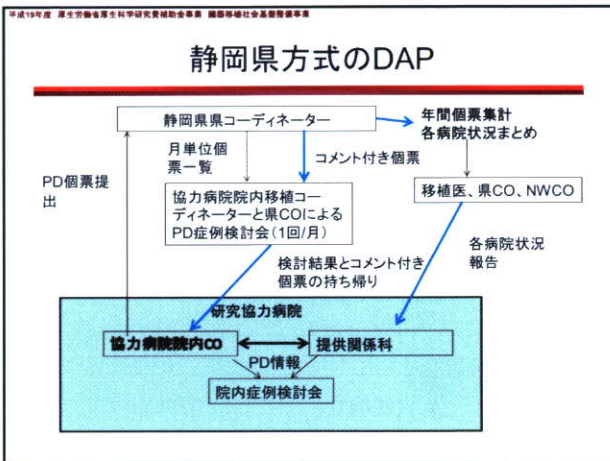
分担研究者: 鈴木和雄
研究協力者: 大田原佳久、石川牧子、大西陽子、澤 祐子

平成19年度 厚生労働省再生科学研究費補助金事業 臓器移植社会基盤整備事業

今年度までの実績

ドナー情報数(うちDAP実施施設からの情報数)
2007 9月まで

	(平成) 11	12	13	14	15	16	17	18	19
情報数	61	103	125 (113)	110 (100)	126 (126)	108 (100)	117 (109)	117 (106)	38 (36)
ドナー数	6(6)	5(5)	9(9)	7(6)	3(6)	8(7)	4(3)	12(10)	1(1)
提供腎数	10(10)	8(8)	15(15)	12(12)	6(6)	12(12)	6(4)	18(16)	2(2)
移植腎数	9(9)	8(8)	15(15)	12(12)	6(6)	11(11)	6(4)	15(13)	2(2)
腎以外の臓 器移植提供 数	臓 器	0	3	0	4	12	5	5	15
	腎	0	0	0	0	0	1	1	0
	脾 臓	0	0	0	0	0	0	1	2
	脳 死	0	0	0	0	0	1	1	0



平成19年度 厚生労働省再生科学研究費補助金事業 臓器移植社会基盤整備事業

平成19年度のDAP実施状況

- 小票数がこれまでの同時期よりも少ない。参加施設で個票提出が全くない施設が増加
- 新規の導入施設はないがPD情報は上がってきている施設は1施設ある。
- HAS、MRR導入施設からの現場の意見など HASは行ってもよいと考えている施設は多いが、事務局がお世話できない。

平成19年度 厚生労働省再生科学研究費補助金事業 臓器移植社会基盤整備事業

平成19年度の計画等

- DAP新規導入施設 なし
- DAP継続施設での予定 16施設
- DAPに対する考察(これまでの効果や、予想される結果等)
 - 毎月一度の個票検討会はかなり院内コーディネーターに好評で多くの施設参加がある。これによるモチベーションがいぎできていると考えられる。
 - 毎年の参加施設への訪問説明会も現場の先生方のモチベーションを高めるのには最適。
 - 事務局として数多くの施設に訪問する負担と、それらを維持することが困難を極めている。

平成19年度 厚生労働省厚生科学研究費補助会事業 臓器移植社会基盤整備事業

北海道

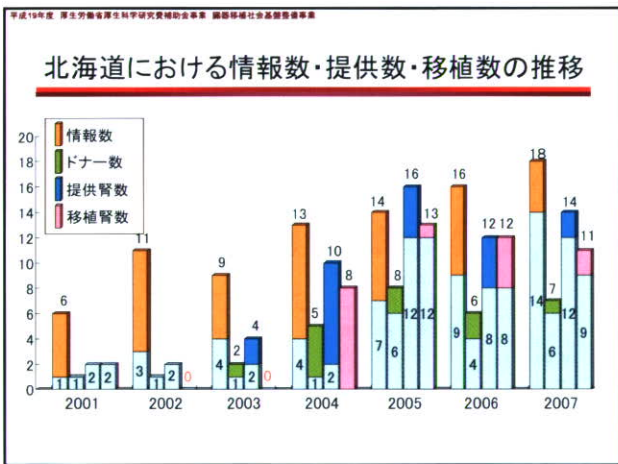
分担研究者：
研究協力者：藤堂 省
(嶋村 剛)

平成19年度 厚生労働省厚生科学研究費補助会事業 臓器移植社会基盤整備事業

今年度までの実績

今年度までの下記データを、年度ごとに表に示す

- ・ ドナー情報数(うちDAP実施施設からの情報数)
- ・ ドナー数(うちDAP実施施設からの情報数)
- ・ 提供腎数(うちDAP実施施設からの情報数)
- ・ 移植腎数(うちDAP実施施設からの情報数)
- ・ 腎臓以外の臓器・組織提供数(脳死下〇件、献眼〇件、組織〇件)



平成19年度 厚生労働省厚生科学研究費補助会事業 臓器移植社会基盤整備事業

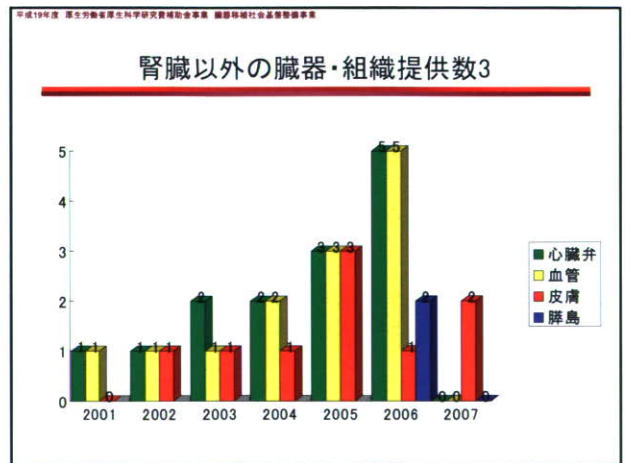
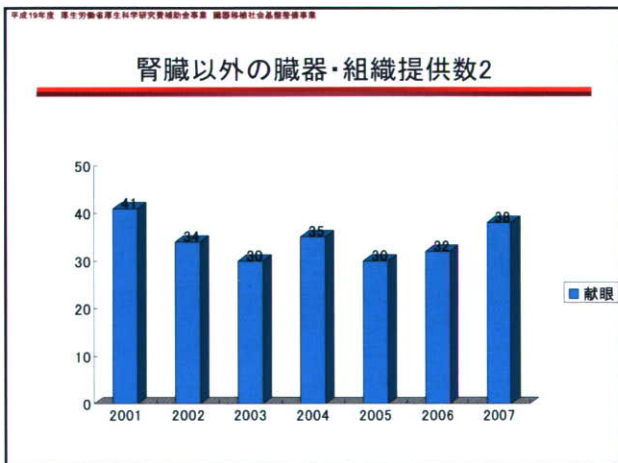
腎臓以外の臓器・組織提供数1

脳死下 3件 (2000, 2005, 2007)

- 肝 2
- 心 1
- 肺 1
- 脾 1
- 小腸 1 (腎 5)

心停止後

- 脾 1 (2004)



平成19年度のDAP実施状況

- ・ 以前からのDAP継続施設進捗
- ・ 平成19年度、DAP新規導入施設一覧と進捗
- ・ HAS、MRR導入施設からの現場の意見など

DAP継続施設(10施設)の進捗状況

- ・ 札幌市;市立札幌、中村記念、手稲溪仁会
- ・ 旭川市;旭川日赤
- ・ 帯広市;帯広厚生
- ・ 函館市;市立函館
- ・ 釧路市;釧路労災、市立釧路
- ・ 室蘭市;日鋼記念
- ・ 北見市;北見日赤
- ・ 名寄市;名寄市立

上記7施設で第2回HAS フィードバック済み を実施
市立釧路で第1回HAS(フィードバック済み)を実施
MRRは未実施

平成19年度、DAP新規導入施設一覧と進捗

- 帯広—北斗病院
- 釧路—釧路脳神経外科(4類型)
- 網走—網走脳神経外科(4類型)
- 網走—網走厚生病院
- 砂川—市立砂川病院
- 苫小牧—市立苫小牧病院
- 室蘭—大河原脳神経外科(4類型)
- 遠軽—遠軽厚生病院
- 札幌—禎心会病院(脳神経外科)(4類型)
- 札幌—国立北海道がんセンター(4類型)

上記施設から院内CO講習会やコンセンサスマーティングに参加あり
これらの施設に対し、今後の活動を展開する予定

HAS、MRR導入施設からの現場の意見など

HASについて

第1回目は現状把握の点で興味が示されたが、
第2回を実施したいずれの施設でも大きな変化は認められず、
今後の実施について協力を得るのが難しい印象

MRRについて

参加施設のいずれでも未導入
現場の煩雑さから導入は難しい印象

平成20年1月の第8回救急医・脳外科医コンセンサスマーティングで、
院内COネットワークを利用したポテンシャルドナー登録について了承が得られた
→病院長に正式な文面を送付済み(回答を待っている状況)
→快諾が得られた施設からDAVを用いた登録制度を開始する
→結果は年2回のコンセンサスマーティングで検討

平成19年度の計画等

- ・ DAP新規導入施設
- ・ DAPに対する考察(これまでの効果や結果等)

DAPの新規導入—前述の10施設がターゲット

DAPに対する考察

1. DAPは問題点の明確化に有用なツールだが、現時点でオリジナルの形で導入するのは難しい
→北海道独自のドナー適格例の登録を開始する
2. 2004年以降、確実に情報数が増えているのはDAPの手法の一部を用いて活動を展開した結果

平成19年度 厚生労働省厚生科学研究所研究補助金事業 臓器移植社会基盤整備事業

新潟県

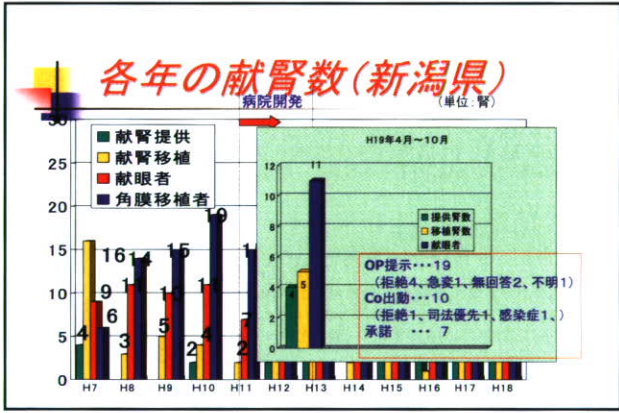
分担研究者: 高橋公太(新潟大学大学院腎泌尿器病態学分野)
 研究協力者: 齋藤和英(新潟大学大学院腎泌尿器病態学分野)
 中川由紀(新潟大学大学院腎泌尿器病態学分野)
 羽入修吾(刈羽郡総合病院)
 秋山政人((財)新潟県臓器移植推進財団)

平成19年度 厚生労働省厚生科学研究所研究補助金事業 臓器移植社会基盤整備事業

今年度までの実績(H14~)

今年度までの下記データを、年度ごとに表に示す

- ・ドナー情報数295(うちDAP実施施設:249)
- ・ドナー数29(うちDAP実施施設:20)
- ・提供腎数40(うちDAP実施施設:26)
- ・移植腎数29⇒13腎県外で移植
- ・腎臓以外の臓器・組織提供数(脳死下1件、献眼92件、組織〇件)



増えたようで増えていない...スタートラインにたっただけ!

今までは患者の臓器提供意思を取りこぼしていたがその意思を、以前より拾えるようになっただけ。「臓器提供意思の尊重」といえるような院内システムを今以上に構築し、患者・家族のニーズに答えられる医療機関を作りたい。

政策的バックアップ=車軸

- 院内環境モデル事業
 - 臓器提供意思の尊重、患者家族ケアなど、様々な観点から院内整備を手がける施設に対し10万円/年の助成する。
- 提供腎移植推進事業
 - 献腎待機者へは、時間を問わず緊急手術の連絡が入る。その際、何時でも手術できる全身状態を確保するため検診エビデンスを配り、年1回以上検査を実施してもらう。

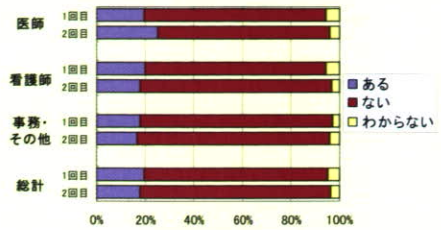
平成19年度のDAP実施状況

- 新潟脳外科病院
 - ・活動初年度から参加しているが、HASは終了している。今年度2回目のHAS予定
 - ・職員の大規模退職で病院運営が厳しい状況にあり活動を縮小(休眠)していた
- 県立新発田病院
 - ・脳外科部長と週に一度、死亡症例検討をしていた。
 - ・救命センターが新規オープンした。かなりのモチベーションがあり、今年度は「臓器移植フォーラムin新発田病院」と題し、院内講演会を行った。
 - ・平成20年3月、脳死下臓器提供シミュレーションを実施予定
 - ・施設独自の職員意識調査で、14%の職員がカードを記入・携帯している。
 - ・HAS導入の相談中。
- 長岡赤十字病院
 - ・院内Co.、及び病棟の体制は良好だが、救急医のキャラクターから活動が休止状態
 - ・定期的な訪問は継続していた
- 新潟市民病院
 - ・月一回の死亡症例検討会は実施されていた。MRRについては休止状態
 - ・新病院体制になり、平成20年度は仕切直しとし、HAS・MRRを導入相談中

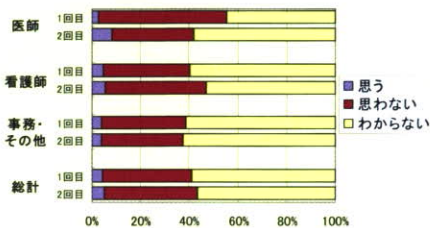
モデル病院報告 刈羽郡総合病院

- HASは2回終了し比較を検討した。
- MRRの検討で、OP提示の率が低いことを指摘、脳外科等に喚起した。
- 2ヶ月毎に委員会を開催し、必要な検討を行っている(議事録の一部を参照)
- 職員教育のための集会を定期的に行う(会報参照)
- 「モデル病院、1年を振り返る」とし日本泌尿器科学会新潟地方会で発表(抄録参照)

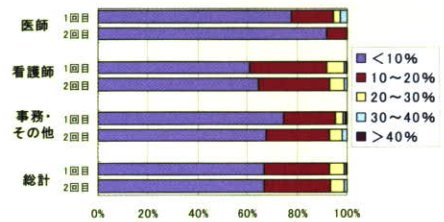
ご自身の死後に臓器/組織提供したいという考えを
家族と話したことは



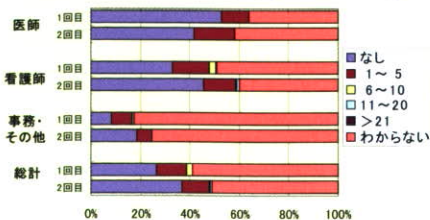
臓器提供によって
家族の悲しみが癒されると



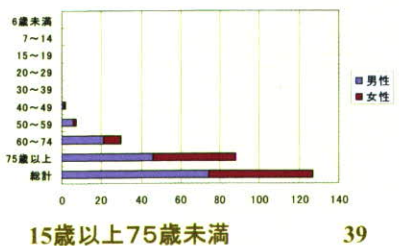
待機者リストのうち、臓器移植を受けることになるのは



昨年、あなたの所属病棟(科)に
入院した患者のうち
臓器移植に医学的に
適当であった患者はおおよそ



年齢別の分布 (n=127)



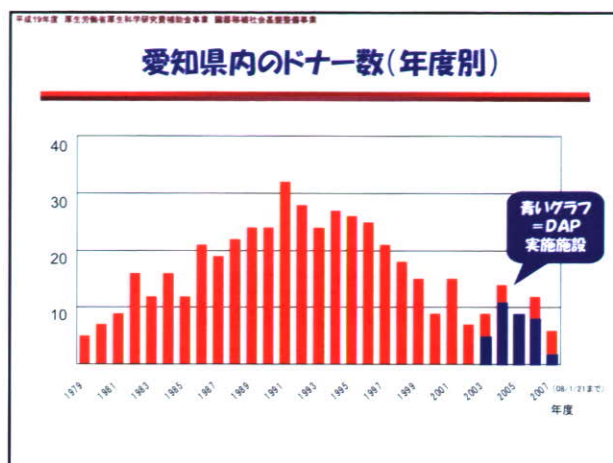
臓器提供へのプロセス(n=127)



平成19年度 厚生労働省厚生科学研究費補助会事業 臓器移植社会基盤整備事業

愛知県

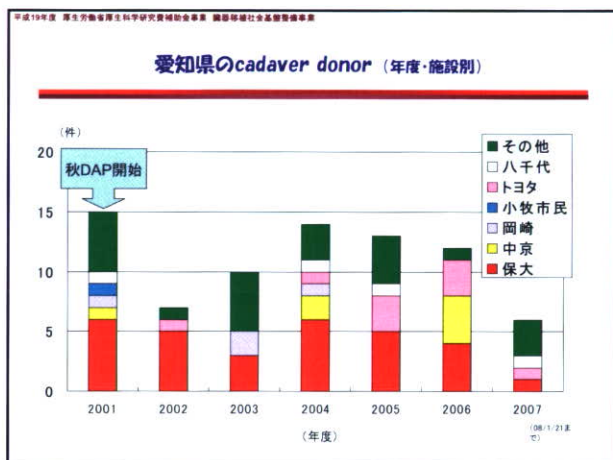
分担研究者: 藤田民夫
研究協力者: 朝居朋子、原 美幸、西分和也、丸山仁実



平成19年度 厚生労働省厚生科学研究費補助会事業 臓器移植社会基盤整備事業

今年度までの実績

	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度 (~08/1/21)
ドナー情報数	59(47)	50(43)	35(29)	70(40)	55(42)
ドナー数	10(5)	14(11)	9(9)	12(8)	6(2)
提供腎数	19(9)	26(22)	18(18)	24(16)	12(2)
移植腎数	16(6)	24(20)	14(14)	20(12)	12(2)
腎臓以外の臓器・組織提供数	脳死下1件 献眼3件(1) 組織3件(1)	脳死下1件 献眼7件(5) 組織10件(9)	脳死下0件 献眼5件(4) 組織6件(6)	脳死下0件 献眼13件(7) 組織7件(5)	脳死下1件 献眼6件(1) 組織2件(0)



平成19年度 厚生労働省厚生科学研究費補助会事業 臓器移植社会基盤整備事業

平成19年度のDAP実施状況

	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
岡崎市民	①	①②③	①②③	①②②②③	①②④	①②④
トヨタ記念		①	①②③	①③	①	①
社保中京		①	①③④	①②③④	①	①
八千代		①	①②	①②③		
小牧市民				①②②③④	①	④
名古屋記念			①②	①③	①	①
公立陶生			①	①②③	①②③	①②③
保健衛生大		④				④

①個票・MRR実施、②勉強会、③個票報告会、④HAS実施

- 平成19年度 厚生労働省厚生科学研究費補助会事業 臓器移植社会基盤整備事業
- ### 平成19年度のDAP実施状況
- ・ DAP新規導入施設
なし
 - ・ DAP継続施設での進捗
岡崎市民病院: MRR実施 (ICUで07/10からperspective)
陶生病院: 静岡版個票実施・院内報告会実施・脳死臓器提供の体制整備に寄与(委員会設立)
 - ・ DAPに対する考察
個票調査はポテンシャルドナーの認識付けに有効
HASは病院側の興味をひくものの、2回目の実施や、1回目との差を出すのが難
MRRは継続困難(マンパワー、優先順位↓)

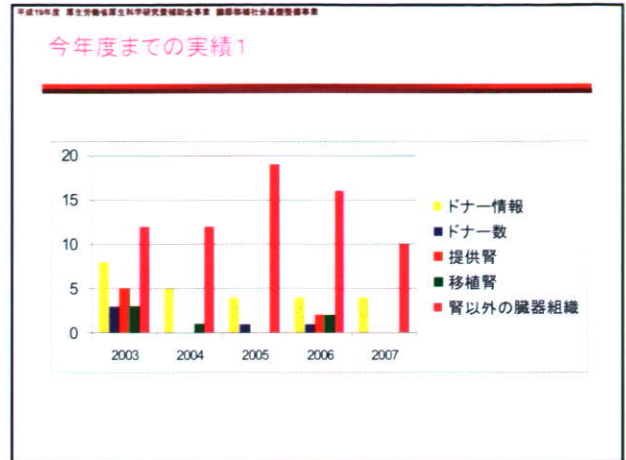
愛知県の課題

- かつてドナーが出ていた施設からの減少を補うために、広く浅く開拓
- オプション提示に対して、家族の肯定的なレスポンスが得られるような施策
⇒ 一般啓発、オプションスキル向上

平成19年度 厚生労働省再生科学研究費補助金事業 臓器移植社会基盤整備事業

富山県 2007

研究協力者： 飯田 博行
高橋 絹代



平成19年度 厚生労働省再生科学研究費補助金事業 臓器移植社会基盤整備事業

今年度までの実績2

提供	存命中に情報が提供された事例			
2003 産院 (OP) 厚生連* (家族) 厚生連* (家族)	厚生連 (OP)	県中 (OP)	県中 (OP)	
2004	大学 (意思)	砺波 (OP)	県中 (OP)	砺波 (OP)
2005 県中 (OP)	県中 (OP)	大学* (家族)	産院* (家族)	
2006 県中 (家族)	日赤* (家族)			
2007	日赤 (家族)	大学 (家族)	富山市民* (家族)	厚生連* (家族)

病院名 DAP参加病院
 病院名(赤) 意思表示カード
 病院名(青) 献腎カード
 () オプション提示=OP、家族も申し出=家族
 * 眼球の提供

平成19年度 厚生労働省再生科学研究費補助金事業 臓器移植社会基盤整備事業

H19年 病院巡回の結果

病院名	対象病棟	死亡数	臓器適応ありと考えられた症例	カード所持等の確認数	重点	カード報告 H18
富山県立中央病院	ER, ICU	234	12	8	**	
厚生連高岡病院*	ER, ICU, 脳外科	193	12	26	**	*
富山大学附属病院	ER, ICU, 脳外科	69	1	1		*
富山市民病院	ICU, 脳外科	108	7	0	*	
富山赤十字病院	病院全体	未着	未着	未着		*
高岡市民病院	ICU	64	5	5	*	
黒部市民病院	ICU	88	2	0		
砺波総合病院	-	-	0	1		
		756	37	40		

平成19年度 厚生労働省再生科学研究費補助金事業 臓器移植社会基盤整備事業

平成19年度のDAP実施状況

病院	状況	活動
黒部市民病院 MRRのみ	アクティブな動きなし ライオンズクラブメンバーからの定期的組織提供がある病院	院内コーディネーターの活動に頼るのみ 医師の協力は比較的難しい
富山県立中央病院 2006年HAS 個票調査	病院機能評価に向け、マニュアルの見直しや講演会などの活発な動きが見られ院内の意識も高まっている。(スライド参照)	ポテンシャルドナーへの確実なOP提示に向け検討されている。
砺波総合病院 2006年HAS	個票調査など、積極的な動きは出来ないが、毎月の検討会や、院内への実績発表は継続して行われている。	院内COIはICU、脳外科病棟などの師長も含まれており、COIによるOPも散発で見られる。

平成19年度 厚生労働省再生科学研究費補助金事業 臓器移植社会基盤整備事業

平成19年度の結果等

- 院内コーディネーター連絡会等での活動
- 病院機能評価

↓

- 院内コーディネーターのいる病院全体の意識が向上
- 院内コーディネーターは何をしていいのかわからない状態から、病院の体制整備の主催者になっている

平成19年度 厚生労働省厚生科学研究費補助金事業 臓器移植社会基盤整備事業

- 当初、DAP参加施設はモチベーションの高いIHCOのある病院を選定
- DAP施設のIHCOは積極的に学会参加や発表を実施しIHCO会議を牽引
- 県内ICHCO連絡会を中心として、各病院には協力を得やすい環境になった。

↓

今後: 調査に基づく、体制をつくる

今 後

県内全体の体制は整いつつある
(21病院)

臓器コーディネーター

⇔

組織コーディネーター

富山県立中央病院
厚生連高岡病院
富山市民病院
富山赤十字病院
富山大学病院
高岡市民病院
黒部市民病院
砺波総合病院

高岡市民病院
黒部市民病院
砺波総合病院
院内コーディネーターの参加するその他の13病院
+
一般病院

平成19年度 厚生労働省厚生科学研究費補助金事業 臓器移植社会基盤整備事業

H20のAction Plan

- 富山県立中央病院・・・100% PDへOP提示 (Dr, IHCO)
- 厚生連高岡病院 ……PDの把握とDrへのアプローチ
- 富山市民病院 ……PDの把握とDrへのアプローチ
- 富山赤十字病院 ……PDの把握 (Drへのアプローチ)
- 富山大学病院 ……PDの把握 (Drへのアプローチ)
- 高岡市民病院 ……PDの把握 (Drへのアプローチ)
- 黒部市民病院 ……PDの把握 (Drへのアプローチ) *
- 砺波総合病院 ……PD把握とIHCOによる意思確認

評価方法・・・病院巡回で対象病棟の死亡数、PDの把握を行い、PDと思われた人にOPがされたか、されなかった場合にはその理由についてレポート。
(電子カルテになったことで、情報が得やすい)

「京都府」

研究協力者：牛込 秀隆 久保田三千恵

今年度までの実績

	平成 14年度	平成 15年度	平成 16年度	平成 17年度	平成 18年度	平成 19年度
ドナー情報 (うちDAP実施施設からの情報)	2 (-)	6 (-)	10 (-)	11 (-)	8 (-)	3 (-)
ドナー数 (うちDAP実施施設からの情報)	0 (-)	1 (-)	3 (-)	1 (-)	1 (-)	3 (-)
提供数 (うちDAP実施施設からの情報)	0 (-)	2 (-)	4 (-)	2 (-)	2 (-)	1 (-)
移植腎数 (うちDAP実施施設からの情報)	1 (-)	1 (-)	3 (-)	3 (-)	3 (-)	3 (-)
腎臓以外の臓器・組織提供数	0	0	0	1	0	1
脳死下 献腎 組織	31 -	27 -	40 1	49 5	40 0	42 0

平成19年度のDAP実施状況

- ・院内Co設置4類型協力病院8施設にHAS協力要請、院長訪問実施
- ・HAS導入施設・・・洛和会音羽病院実態調査・分析
死亡者件数調査(前半期)
結果：11件中7件はポテンシャルドナー、内 6件は家族の受容あり。
オプション提示0件
問題点：6件はオプション提示があれば提供に結びつく可能性があった事例である。オプション提示にたいする意識が病院全体の中に浸透していない。言い出すタイミングが難しいという医師の声があり。
対策：オプション提示時に活用するため、「京都府からのお知らせ」意思確認用パンフレットを作成。
実践：洛和会病院をはじめ、19施設(院内Co設置)の院長を対象に院内Coとともに趣旨説明、全職員に周知徹底を依頼のため訪問中、現在11施設終了。

平成19年度の結果・問題点

- 1) 目的を具体的に文書にしてHASの協力要請を8施設に行ったが導入施設を拡大するには至っていない。
- 2) HAS協力病院ではない施設より、1事例の提供にとどまった。
- 3) 京都府Coが1年毎に変わり、DAPの協力県としての認識が低く、DAPの意義や目的を院内Co及び府下の施設に周知徹底することができなかったという重大な問題を残した。
- 4) 院内Co会議の出席率は良くなりCoの数もふえてきたが、院内での位置づけ役割が明確でないため、施設内で有効な活動を院内Coができていないという現状がある。
- 5) 京都府との連携を強化することができるようになり、京都府の協力を得てオプション提示のツールとしてのパンフレットを作成することができた。
- 6) パンフレットの趣旨説明をするために施設長訪問することにより、移植医療が職員全体に浸透していない現状が明確になる反面、直接施設長や部長と話すことにより、勉強会の計画を提案されるなど院内整備の一步を踏み出すことができた。

今後の課題

- 1) 院内Coの役割・位置づけの明確化
・院内臓器移植コーディネーター会議の充実
 - 2) 施設職員の意識向上、施設内整備
・意識調査
・院内勉強会
・シミュレーション実施
- やはりDAPの活動を着実に取り組んでいけば、職員の意識も向上し、院内Coの役割も明確となり、移植医療の発展につながったと思います。

平成19年度 厚生労働省厚生科学研究費補助金事業 臓器移植社会基盤整備事業

福岡県

分担研究者: 杉谷篤
研究協力者: 岩田誠司

平成19年度 厚生労働省厚生科学研究費補助金事業 臓器移植社会基盤整備事業

今年度までの実績

11月20日現在

()内は DAP協力施設	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度
ドナー情報数	10	16	18	21	30	30
ドナー数	5(1)	4(2)	5(1)	9(7)	8(5)	10(5)
提供腎数	10(2)	8(4)	9(2)	16(12)	16(12)	20(10)
移植腎数	12	10	9	16	16	17
腎臓以外の 臓器提供	0	0	0	0	0	0
献眼/組織 提供数	11/0	10/5	8/3	5/1	8/9	10/1

平成19年度 厚生労働省厚生科学研究費補助金事業 臓器移植社会基盤整備事業

DAP実施状況

	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度
北九州市立八幡病院	個票回収				
新行橋病院	個票回収				
聖マリア病院	個票回収				
済生会福岡病院	HAS(3月)	HAS MRR		HAS MRR	HAS MRR
飯塚病院	HAS(3月)	MRR		HAS MRR	HAS MRR
小文字病院				HAS MRR	HAS MRR

平成19年度 厚生労働省厚生科学研究費補助金事業 臓器移植社会基盤整備事業

平成19年度の結果等

- ・ DAP新規導入施設
平成19年度からの新規導入施設はなし
- ・ DAPに対する考察(これまでの効果や、結果等)
現場でドナーとしての適応の有無を判断できる医師が増加した。
日々の業務のなかで忘れられがちな『臓器提供への協力』という意識が根付ききっかけとなった。

平成19年度 厚生労働省厚生科学研究費補助事業 臓器移植社会基盤整備事業

「熊本県からの報告」

分担研究者：西 一彦
研究協力者：西村 真理子、井 清司

平成19年度 厚生労働省厚生科学研究費補助事業 臓器移植社会基盤整備事業

18年度までの実績

- 参加施設名と導入ステージ一覧
- 平成14年度から18年までの熊本県のDAP

施設名	院内説明会の実施 意思確認パンフの導入	脳死下提供シミュレーション実施 意思確認開始
国立病院機構熊本医療センター	院内説明会の実施 意思確認パンフの導入	脳死下提供シミュレーション実施 意思確認開始
熊本赤十字病院	意思確認パンフの導入	脳死下提供シミュレーション実施
熊本大学附属病院	院内説明会の実施	脳死下提供シミュレーション実施
公立多良木病院	院内説明会の実施	地域講演会等普及啓発実施
水俣総合医療センター	院内説明会の実施	院内勉強会開催
熊本機能病院	院内Co設置、説明会	骨バンク設置
NTT西日本九州病院	担当者(院内Co)設置	研修会参加
熊本地域医療センター	担当者(院内Co)設置	研修会参加
済生会みずみ病院	院内説明会の実施	院内マニュアル作成
人吉総合病院	院内説明会の実施	院内勉強会開催

- ドナー情報数 64件 DAP施設 12件
- ドナー数 19件 DAP施設 12件
- 提供腎数 4件 DAP施設 6件
- 移植腎数 10件 DAP施設 6件

腎臓以外の臓器・組織提供数 脳眼59件 角膜 5件 1件

平成19年度 厚生労働省厚生科学研究費補助事業 臓器移植社会基盤整備事業

平成19年度のDAP参加状況

参加施設名と導入ステージ一覧

施設名	院内説明会の実施 意思確認パンフの導入	脳死下提供シミュレーション実施 意思確認開始
国立病院機構熊本医療センター	院内説明会の実施 意思確認パンフの導入	脳死下提供シミュレーション実施 意思確認開始
熊本赤十字病院	意思確認パンフの導入	脳死下提供シミュレーション実施
熊本大学附属病院	院内説明会の実施	脳死下提供シミュレーション実施
公立多良木病院	院内説明会の実施	地域講演会等普及啓発実施
人吉総合病院	院内説明会の実施	院内勉強会開催、JATCO
熊本機能病院	院内Co設置、説明会	骨バンク設置
NTT西日本九州病院	担当者(院内Co)設置	研修会参加
熊本地域医療センター	担当者(院内Co)設置	研修会参加
済生会みずみ病院	院内説明会の実施	院内マニュアル作成
平成19年度新規参加施設		
高野病院	担当者(院内Co)設置	HAS実施(3月予定)
谷田病院	院内説明会の実施	院内マニュアル作成
再春荘病院	担当者(院内Co)設置	院内勉強会開催、JATCO

平成19年度 厚生労働省厚生科学研究費補助事業 臓器移植社会基盤整備事業

平成19年度のDAP実施状況

- ドナー情報数 9件 (DAP施設 3件)
- ドナー数 8件 (DAP施設 3件)
- 提供腎数 1件 (DAP施設 0件)
- 移植腎数 11件 (DAP施設 2件) 献腎4件
- 腎臓以外の臓器・組織提供数(献眼 6件、組織0件)

平成19年度 厚生労働省厚生科学研究費補助事業 臓器移植社会基盤整備事業

平成19年度の計画等

- DAP新規導入予定
 - 高野病院: 意思確認パンフレットに興味あり、院内体制整備
- DAP継続施設での予定
 - 国立病院機構熊本医療センター: 意思確認パンフレット導入
 - 熊本赤十字病院: 意思確認パンフレット導入
 - 熊本大学附属病院: 設置型意思確認パンフレット導入予定
 - 熊本機能病院: HAS、MRR実施、意思確認開始
 - NTT西日本九州病院: HAS、MRR実施、意思確認パンフレット導入予定
 - 熊本地域医療センター: HAS、MRR実施、意思確認パンフレット導入予定

平成19年度 厚生労働省厚生科学研究費補助事業 臓器移植社会基盤整備事業

現状での問題点と課題等

- 問題点と課題
 - 移植推進を強力に進める医師の不在
 - 移植機能の一点集中
 - 院内移植コーディネーター養成の充実
 - 県行政の関心の薄さ及び財政難
 - 腎不全対策の遅れ
 - HLA検査施設消滅の危機